

島根県における「物流の2024年問題」に対する実態調査結果

【調査対象事業者数394社：うち回答事業者数232社（58.9%）】

問1：「2024年問題」に関し、既にどのような影響がでていますか。（複数選択回答可）

- | | |
|--------------|-----|
| ①影響はない | 92社 |
| ②営業収入の減少 | 81社 |
| ③運転者の賃金低下 | 44社 |
| ④運転者の離職 | 34社 |
| ⑤運行可能エリアの見直し | 73社 |
| ⑥一部荷物の引き受け停止 | 27社 |
| ⑦その他 | 5社 |

- ・配送便の集約（1社）
- ・増員、増車への不安、運転資金の不安（1社）
- ・高速代など経費増（1社）
- ・まだわからない（1社）
- ・残業をしなくなり他社の車を使用（1社）

問2：「2024年問題」にどのように対応しています（予定です）か。（複数選択回答可）

- | | |
|------------|------|
| ①特に何もしていない | 67社 |
| ②荷主との交渉 | 129社 |
| ③新規採用 | 45社 |
| ④労働時間短縮 | 85社 |
| ⑤賃金の引上げ | 62社 |
| ⑥車両の削減 | 23社 |
| ⑦廃業予定 | 3社 |
| ⑧その他 | 5社 |

- ・運行ルート見直し（2社）
- ・荷役時間短縮（2社）
- ・特に考えることはない（1社）
- ・荷役作業を無料ならしないと提案（1社）
- ・休業予定（1社）

問3：長時間労働が発生している場合、主な原因は何ですか。（複数選択回答可）

- | | |
|-----------------------|------|
| ①発生していない | 105社 |
| ②荷主の事情（荷待ち、荷積み、出荷遅れ等） | 75社 |
| ③運転者不足 | 55社 |
| ④コストを下げるための一般道走行 | 38社 |
| ⑤その他 | 8社 |

- ・荷主要望による遠距離輸送（1社）
- ・配送先の事情（時間等）（1社）
- ・土日勤務（1社）
- ・時期柄な仕事（1社）
- ・毎回条件が違う（1社）
- ・仕事量を多くしないと賃金に反映しない（1社）
- ・単価が安い（1社）
- ・渋滞など交通事情（1社）

問4：荷積み・荷卸しの際に荷待ち（到着指定時間～荷役終了まで）は平均どのくらい発生していますか。

- | | |
|----------|------------|
| ①発生していない | 83社（35.8%） |
| ②1時間未満 | 84社（36.2%） |
| ③1時間～2時間 | 47社（20.3%） |
| ④3時間以上 | 13社（5.6%） |
| ⑤未回答 | 5社（2.1%） |

問5：荷役以外に付帯業務は発生していますか。（複数選択可）

- | | |
|-------------|------|
| ①発生していない | 155社 |
| ②棚入れ・仕分け・陳列 | 26社 |
| ③ラベル貼り | 9社 |
| ④廃材の回収 | 17社 |
| ⑤検査・検収 | 16社 |
| ⑥その他 | 18社 |

- ・パレット物のラップ巻き（2社）
- ・在庫管理（1社）
- ・荷造り、荷姿修正、荷役準備（4社）
- ・新旧商品の入替（1社）
- ・フォークリフトでの荷役作業（9社）
- ・清掃作業（1社）

問6：付帯業務について料金を収受できていますか。

- ①収受している 35社 (15.0%)
- ②収受していない 82社 (35.4%)
- ③取引先によって異なる 42社 (18.1%)
- ④未回答 73社 (31.5%)

問7：収受できている運賃はおおよそ基準運賃の何%程度ですか。

- ①ほぼ基準運賃の水準 52社 (22.4%)
- ②基準運賃の80% 50社 (21.5%)
- ③基準運賃の60% 48社 (20.7%)
- ④基準運賃の50% 11社 (4.7%)
- ⑤基準運賃の50%以下 8社 (3.5%)
- ⑥未回答 63社 (27.2%)

問8：主な現在の輸送エリアと2024年4月以降、改正改善基準告示が適用された際の輸送可能なエリアを教えてください。(荷待ち時間、荷役時間等を含めたいうで)

(複数選択可)

地 区	現 在	今 後
北 海 道	3 社	3 社
東 北	11 社	7 社
北 関 東	30 社	23 社
南 関 東	34 社	25 社
甲 信 越	24 社	18 社
東 海	54 社	39 社
北 陸	39 社	29 社
関 西	88 社	82 社
四 国	68 社	66 社
山 陰	199 社	197 社
山 陽	112 社	115 社
九 州	80 社	74 社

問 9 : 「2024 年問題」改善のための荷主（元請事業者もしくは発注者）の理解度や協力度の現状を教えてください。（荷待ち時間の解消、運賃交渉等の場があったか等）

- ①非常に高い 10社（4.3%）
- ②高い 103社（44.4%）
- ③低い 78社（33.6%）
- ④非常に低い 20社（8.6%）
- ⑤未回答 21社（9.1%）

問 10 : 「2024 年問題」や物流機能の改善に向けて、貴社でお考えの課題や望むことがあれば、ご自由に記載ください。

- ・荷主の理解（荷待ち時間・荷役作業への追加運賃、適正な収受運賃）（19社）
- ・高速道路（駐車場拡充、運送業割引、一般車値上、最高速度の見直しを）（12社）
- ・ドライバー不足、高齢化（5社）
- ・廃業、統合化も視野に（4社）
- ・運転手の負担軽減（力仕事・仕事量減らすため、条件付きでも自宅から電話点呼可能にしてほしい）（4社）
- ・荷主への監視の強化、指導（4社）
- ・KIT（求荷求車サービス）の価格が安すぎる（2社）
- ・外国人の雇用（1社）
- ・職場離脱の課題（1社）
- ・毎日の荷量によりスムーズに配送出来るように努力している（1社）
- ・4t箱車及び平トラックの積載量が少ない（1社）
- ・雇用問題、社会的地位向上、免許制度（運転）（1社）
- ・雇用主が雇用者を解雇できるハードルを下げる（1社）
- ・長時間労働になる原因を把握して、その場しのぎの施策はやめてもらいたい。（1社）
- ・運賃や時間の問題で荷主への要望が増え、運送屋を使わず自社便を持つようになる。（1社）